

## 研究協力のお願について

福井県立病院心臓血管外科では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、福井県立病院倫理審査委員会の審査を受け、病院長ならびに心臓血管外科長の承認を得て行っているものです。

### 1. 研究の対象

長期留置型透析用カテーテルの成績

### 2. 研究の目的について

本邦における維持透析患者数は、2018年12月の時点で約34万人とされています。高齢化と長期の透析歴、糖尿病患者比率の上昇などから、自家静脈によるバスキュラーアクセスの作成が困難な患者さんが増えてきています。人工血管を用いた内シャント設置術を行う症例も増加していますが(2)、人工血管を用いた内シャント設置術は、合併症が多く、長期成績も不良であることが問題となっています。当院では全身状態が不良、悪性腫瘍など長期予後が見込めない症例に対して、長期留置型透析用カテーテルを用いたブラッドアクセスを積極的に作成してきました。

今回、当院で作成した長期留置型透析用カテーテルを用いたブラッドアクセスの術後成績を検証し、学術集会・学術論文で報告したいと思っております。

### 3. 研究の方法について

2013年1月1日から2023年10月31日までの、長期留置型透析用カテーテルを用いたブラッドアクセス作成症例を対象とします。その際の画像所見、術中所見、術後合併症の結果などを電子カルテのデータから情報収集します。

### 4. 研究期間

承認日から2024年12月31日まで

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、術中所見、治療経過、カルテ番号

### 6. 外部への試料・情報の提供・公表

脈管学に投稿予定です。また、中間報告として、第69回 日本透析医学会学術集会（2024年6月7日～6月9日）に発表予定です。

### 7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。

